

高等部 1 年 職業実践 4 グループ 学習指導案

大阪府立和泉支援学校

〒11 野上 大樹

1. 日時 令和 5 年 9 月 2 0 日 (水) 第 5 時限 (1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 1 0)
2. 場所 第 1 学年 4 組教室
3. 学部・学年・グループ 高等部 第 1 学年 4 グループ
4. 単元 (題材) 名 「自分を知り、自分を伝える」
5. 単元 (題材) 目標
 - ・自分の考えや他者の意見などを取り入れて、「自分」についてまとめようとしている。(知識・技能)
 - ・自分でまとめた内容を、他者へ伝えようとしている。(思考・判断・表現)
 - ・課題の内容を理解し、課題に対して主体的に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・人と「自他の理解」3 段階① 相手の気持ちや考えを感じる。
- ・自分で「振り返り・自己調整」3 段階③ 自分の得意・不得意を知る。

6. 児童生徒観

・高等部 1 年生 7 名で授業を展開している。このグループの生徒は、高等部卒業後数年以内に就労することを目標としている。生徒同士の関係性も良好で、協力して取り組む姿勢を持っている。コミュニケーション面において、多くの人や改まったの発表の場になると、不安や緊張からうまく発表できないことがあり、他者への意思等の表出に課題のある生徒が多い。これらについては、質問や意見など、授業内での発言機会を敢えて増やしていくことで、自信に繋げていくようにすることで、少しずつ表出できるようになってきている。また自分の意見や考えをまとめるのが苦手な生徒も多い。その点は、個別に教員がアドバイス等を入れていき、生徒自身に気付かせるような支援を行うことで、スムーズにまとめやすく、その後の課題への取り組みにも、意欲を持って取り組めることが多い。

7. 教材観

・卒業後の就労を目標としている生徒にとって、就労、さらには継続して働き続けるために、正しく自己理解を進めて、自分を知っておくことは必要であると考え。自分を知っていくために、自己意見のみで決定するのではなく、他者からの印象を参考にして、自分の特性や特徴を整理してまとめ、発信することで、生徒自身が正しい今の自分をより詳しく知ることができ、また自己発信して他者に受け入れもらうことで、その知り得た自分を受容しやすくなる考える。

8. 指導観

・生徒が今の正しい自分を知るために、自分で考えることはもとより、他者の意見を聞き入れる機会ができることに加えて、他者の印象を考えることで、改めて自分はどうなのかを考え直すことができる。また、苦手なことや短所のように、ネガティブな印象を挙げていくことについても、自分を正しく知るうえで大切なことであることを知り、受容する良い機会になることが期待できる。さらには、正しい自分を他者に発表し、受容してもらうことで、自分のことを伝える大切さを知ることや、コミュニケーション能力の向上も期待できる。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<p>①様々な視点からの意見や印象を基に、ワークシートにまとめようとしている。</p> <p>②他者の意見を正しく聞き取り、書き出そうとしている。</p> <p>③相手に伝わりやすい表現や適切な表現方法を知ろうとしている。</p>	<p>①長所や短所を適切な言葉や表現で表そうとしている。</p> <p>②考えや意見をまとめて、他者に伝えようとしている。</p>	<p>①わからない点を教員に聞きながら、課題に対して主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②他者からの印象や発表を聞き入れて、受容しようとしている。</p>

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全5時間、本時は第3時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	1	・自分の目、他人の目から自分を知る。	・ワークシートを用いて、自分のことを考えての記入、他人からの聞き取りによる記入、それぞれを個人とグループワークで取り組む。	・個人作業は、机間巡視をしながら、自分の言葉で書くように促す。 ・グループワークは、司会を教員が行い、シートに沿って進める。また、相手の良い印象を述べるように促す。	・A①、A②、C②
	2	・自分についてわかったことをまとめる。	・ワークシートを用いて、自他の意見から自分のことを、シートにまとめていく。 ・併せて趣味や余暇の過ごし方についても記入する。	・ただ書き出すのではなく、他者の意見を理解しながら書き出すように言葉かけを行う。 ・趣味や余暇の過ごし方については、自分の言葉を用いて、相手にわかりやすく書くように促す。	・A①、C①、C②

		<ul style="list-style-type: none"> ・長所・短所を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択式ならびに記述式ワークシートを用いて、自他の意見を基に、長所・短所を挙げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいアドバイスは敢えてせず、生徒自身で考え出した回答や言葉を用いて書き出せるように促していく。 	
2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことについて適切な表現で示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長所や短所に対する適切な表現方法を学習する。 ・前回のワークシートを参考に、長所・短所について、適切な表現に書き直していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短所については、否定的な表現では終えず、肯定的な表現で終える表現が適切であることを丁寧に伝える。 ・短所に対して、極端にネガティブな印象を持たないように、長所や得意なことを絡めながら、自分を知るため、高めるために、必要な作業であることを意識づけられるような説明やアドバイスを、全体や個別に行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A③、B①、C①
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや理解してきた内容を、自己紹介シートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで整理してまとめた内容を、自己紹介シートに記入していく。 ・発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくまとめられない、言葉の出でこない生徒に対しては、選択式の解答例を提示して、そこから自分の言葉に繋げていけるように促していく。 ・全体の前での発表が難しい場合は、撮影による発表方法についても提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A①、B②、C①
3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した自己紹介シートを基に、グループの前で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に対しては寛容な姿勢で聞くように促す。 ・発表については、ipadによる撮影も同時に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B②、C②

II. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・相手に伝わりやすい表現や適切な表現方法を知る。(知・技)
- ・自分に関することを、適切な表現で表すことができる。(思・判・表)
- ・適切な表現を、自分の言葉を用いて正しく書き出すことができる。(学)

(2) 本時の評価規準

- ・相手に伝わりやすい表現や適切な表現方法を知ろうとしている。(知・技)
- ・長所や短所を適切な言葉や表現で表そうとしている。(思・判・表)
- ・わからない点を教員に聞きながら、課題に対して主体的に取り組もうとしている。(学)

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・(個人) ワークシート、表現プリント、筆記用具
- ・(全体) テレビ、Ipad、HDMI ケーブル

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
3分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠確認、あいさつ ・前回の振り返り ・本時の内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠確認はあいさつ前に行う。 ・日直によるあいさつを促す。 (分離礼) ・前回までに作成したワークシートを見ながら、振り返りを行う ・本時は、自分のことについて適切な表現で示すこと、その内容を受け止めて、自己紹介シート完成に繋げていくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの取り組みについて、正しく振り返り、本時の目標を知ろうとしている。
42分 展開	○適切な表現方法の学習	○長所や短所について、相手に伝わりやすい表現に加え、特に短所の表現は、ネガティブな表現のまま書き終えるのではなく、肯定的（プラス）な表現で書き終えることで、短所に対しても前向きに捉えている姿勢を相手に見せることが大切であると、丁寧に伝えていく。また、プラスな表現で終えることは、自身も短所に対して前向きに受け止めやすくなることも伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・A③ ・表現方法の違いを、ワークシートや例文等を用いて、知ろうとしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ○前回までに記入したシート準備 ○「長所、短所」の記入 <ul style="list-style-type: none"> ・短所の伝え方を知り、適切な表現で記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・「長所・短所」の記入の際には、自分を知るうえで、どちらも正しく知ることが大切であることを伝える。特に、短所に対してはネガティブな印象を持たないように、記入を進めながらも促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B①、C① ・肯定的な表現を用いて、自身の短所を表現しようとしている。 ・わからない点を自ら教員に質問をして聞き、文を組み立てようとしている。
5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・次回予告 ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・最終の進捗状況の確認をする。 ・今回の課題が残った場合は次回続きを行うことと、自己紹介シートの記入を行うことを伝える。 ・日直によるあいさつを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の進捗度、達成度を確認する。 ・次回の見通しを立てようとしている。

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）

